

7月12日：パニック売りでVN指数は3日続落

新規感染者数の急増に続き、制限措置が経済に及ぼすダメージへの不安がパニック売りを招き、ベトナム株は下落した。

ホーチミン市場のVN指数は3.77%安の1,296.30ポイントだった。

同指数は先週4.5%以上値を下げていた。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄を上回り、374銘柄が下落し、36銘柄が上昇した。

出来高は高水準で、売買高は9億6,170万株以上、売買代金は31兆6,000億ドンを超えた。

先週末からホーチミン市は15日間、小売店や路上販売を通じた飲食物の持ち帰り、全ての宝くじサービスの提供を停止させた。

これは感染拡大を抑えるために同市が取り組む社会的隔離措置の一環である。

また15日間、全てのバイクタクシー、通常のタクシー、配車サービスの提供を停止させた。物流サービスは継続される。

経済成長の重しとなる制限措置への不安から、多くの業種に利益確定売りが広がったことが株価下落の主な理由である。

VN30指数は3.43%安の1,443.10ポイントで取引を終えた。

同指数組入銘柄のうち、上昇したのは4銘柄のみだった。

マサングループ (MSN) ノブランド不動産投資グループ (NVL)、ベトジェットエア (VJC)、モバイル・ワールド・インベストメント (MWG) は、それぞれ0.06~0.93%上昇した。

その反面、ベトナム投資開発銀行 (BID)、PVパワー (POW) は6%を超える大幅安。

テクコムバンク (TCB)、TPバンク (TPB)、バオベトホールディングス (BVH)、ホアファットグループ (HPG) は5%以上下落。

ビンググループ (VIC)、ビンホームズ (VHM)、ペトロベトナムガス (GAS)、FPT グループ (FPT) はそれぞれ4%以上売られた。

VP バンク (VPB)、タインタインコン・ビエンホア製糖 (SBT)、ヴィエティンバンク (CTG) は7%のストップ安を付けた。

「出来高は再び増加したが、売りの投資家心理を反映しており、値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回ったままだ。傾向を見ると VN 指数は今後 1,320~1,380 ポイントのレンジで推移する可能性がある」 (バオベト証券)

一方で、ハノイ市場の HNX 指数は 4.48%安の 292.98 ポイントだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。